

第1回堺市美原区政策会議

日時 令和7年6月16日(月) 午後7時03分～20時50分

場所 美原区役所 5階 大会議室

出席者：

【構成員】 東構成員、阿部構成員、磯部構成員、氏林構成員、鈴木構成員、高岡構成員、高城構成員、田中副座長、辻本構成員、釣井構成員、寺井構成員、豊岡構成員、烏井構成員、伯井構成員、堀内座長、松本構成員、大和構成員

【事務局】 小川区長、澤副区長、北口課長、荻野課長補佐、奥田

【美原区役所関係職員】 西本保健福祉総合センター所長、久保自治推進課長、金田同課長補佐、煙岡市民課長、北浦保険年金課長、岸岡生活援護課長、池野地域福祉課長、村田子育て支援課長、上田美原保健センター所長

会議：公開会議

傍聴：傍聴者数1人

1 開会

2 会議報告

「事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告」

3 区長あいさつ

○小川区長 本日は、大変お忙しい中、美原区政策会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から堺市政並びに美原区政全般にわたりまして、格別の御支援・御理解を賜り、誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

さて、この美原区政策会議は、区の実情や特性に応じた政策形成を進め、特色ある行政の実現を図るため、区民参画と区長の政策立案を支える行政運営の懇話会として開催しております。

今期は、美原区基本計画の改定のタイミングとなっております。改定に当たりまして、構成員の皆様から広く御意見をいただき、参考とさせていただきたいと思います。

構成員の皆様には、それぞれのお立場から積極的に御意見、御助言をいただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4 構成員などの紹介

「構成員、事務局職員、区役所関係課職員の紹介」

5 構成員の活動報告

○奥田企画総務課 本会議では、構成員同士の交流を深めるなどの目的から、皆様が行われている取組のうち、ほかの構成員が参加できる取組があれば、御案内をさせていただいております。本日は、松本構成員から御報告いただきます。

先日、大饗地区の田んぼで、八上小学校と地元企業、農芸高校などによる「おむすびプロジェクト」の田

植えが実施されました。従来であれば、皆様にも参加の案内をさせていただくところでしたが、美原区政策会議構成員の改選時期で、事前に皆様にお伝えできなかったものです。

松本構成員から一言お願いします。

- 松本構成員　チラシを御覧ください。このプロジェクトは、堺市立八上小学校の5、6年生を中心にいろんな関係者の方々に協働いただき進めているプロジェクトです。概要をお伝えします。5年生は合鴨農法でお米を育て、稲刈りし、それを食するところまでしていただき、6年生はそのお米を使って、地元の海苔メーカーさんと協働しておむすびメニューの開発、販売をしていくプロジェクトです。

「プロジェクトの目指す未来」と書いてありますが、本物の体験を通じて未来をつくる力を育むということで、実践的な体験を通じた学びを提供していきながら、こどもたちが地域のいろんな課題に対してアクションを起こしやすい環境を創っていきたいと思っています。

後は、おむすびで農業と食と人のつながりを通じて、美原区に新たな魅力が生まれたいと考えています。

最後に、地域を知って主体的に関わることで、地域への愛着も育んでいきたいと思い、プロジェクトを進めています。

案内になりますが、裏面を御覧いただきまして、稲刈りや商品開発、販売会など様々なイベントがこれからありますので、ぜひ御興味があれば、サポートスタッフとして御協力いただければうれしいと思っています。

(拍手)

- 奥田企画総務課　今後のおむすびプロジェクトの取組で、構成員の皆様にも参加いただける取組がありましたら、事務局から改めて御案内させていただきます。

これからも構成員の皆様が参加いただけるイベントなどがありましたら、事務局へお知らせください。

6 議事

- 堀内座長　次第に沿って進行させていただきます。皆様には円滑な議事の進行に御協力をお願いいたします。

それでは、堺市美原区政策会議開催目的などの説明について、事務局から説明をお願いします。

- 奥田企画総務課　この会議は、区民などの意見を反映しつつ、区ごとの実情及び特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るために開催されており、区長は構成員の皆様からいただいた様々な意見を参考にさせていただき、施策を進めてまいります。

なお、この会議は、単一の結論を目指すものではなく、広く意見をいただく場所であるため、世代や立場などの違いにより意見が違ふこともあるかと思いますが、御自身の立場で積極的に意見を述べていただきますようお願いいたします。

ただし、ほかの方の意見を否定することや、御自身の意見に賛同するよう促すようなことは控えていただきますよう、よろしくお願いします。

- 堀内座長　では続いて、「美原区ビジョン2025の概要」について、事務局から説明をお願いします。

- 奥田企画総務課　資料1を御覧ください。

1枚目が「美原区ビジョン2025」の概要版です。2枚目がこの後グループワークで議論いただく「第3

章めざすべき美原区の将来像と基本理念及び計画方針」の次期計画のイメージ図になります。

「美原区ビジョン 2025」は、美原区が目指すべき10年後の将来像と、その実現のための基本方針と活動プランを定め、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間としています。今年度は、現行ビジョンの計画期間終了年度に当たるため、次期堺市美原区基本計画を策定します。

次期計画は、現行ビジョンの理念を引き継ぎつつ、社会情勢の変化に応じて、基本方針に沿った新たな活動プランの策定やKPIの見直しも検討したいと思います。

資料2を御覧ください。

この資料は、「美原区ビジョン 2025」の基本方針に基づいた主な取組事例とKPIの検証について示しています。KPIの最新値は、最終年度である令和7年度前の令和6年度の数字となります。表内の矢印は、ビジョン策定時のKPIから令和6年度の推移を表しています。次期計画のKPIの設定については、現在の最新値を参考にします。

続きまして、補足資料として、令和6年度に実施した美原区民意調査の結果について説明します。

資料3を御覧ください。

次期計画は、美原区民意調査の結果も踏まえ策定します。この資料では、次期計画に関連しそうな調査結果を一部抜粋しています。

なお、今年度より新たに就任いただいた構成員の皆様におかれましては、「美原区ビジョン 2025」と「令和6年度美原区民意調査報告書」をお渡ししています。以上の資料は、これから行うグループワークでも御活用ください。

○堀内座長 それでは、案件に入りたいと思います。「次期美原区基本計画 将来像実現のための活動プラン」について、事務局から説明をお願いします。

○北口企画総務課長 現行ビジョンでは、将来像実現のため、基本方針を3つ設定しています。各グループにそれぞれ基本方針を指定させていただき、御自身や会社、地域、団体で取り組まれていることや、これから取り組みたいことなどについて意見を出し合ってください。

構成員の皆様には、事前提出書類として既に取り組んでいただいておりますが、御提出された御意見は、お手元の資料4にまとめています。こちらは参考資料として御活用いただきたいと思います。

なお、机の上に、事前の御意見から抜粋したキーワードなどを記した紙を複数枚用意しておりますので、こちらも御参考に御活用ください。

グループワークの進め方ですが、各グループのファシリテーターを伯井構成員、堀内座長、松本構成員にお願いさせていただきました。ファシリテーターの皆様は、グループの意見の取りまとめをお願いします。

なお、本日は発表がファシリテーターの方に限りませんので、各グループ内で発表の方をあらかじめ決めていただきたいと思います。

なお、グループワークの時間は30分程度取りますが、発表はその後まとめたあと、各グループ5分ずつ発表いただきます。

話し合ってください基本方針ですが、伯井構成員のグループには、基本方針1「安全・安心に暮らせる」、

堀内座長のグループには、基本方針 2「魅力的で訪れたいくなる」、松本構成員のグループには、基本方針 3「やってみたいが実現できる」をお願いします。

なお、事務局より、基本方針を指定させていただきましたが、あくまで主に話し合っていたきたい方針です。別の方針についての意見が出た場合はそのまま話し合っても構いません。また、発表いただけたらと思います。

まとめやすくするために、発言いただく際はお手元の付箋に御記入いただき、模造紙に貼っていただきますようお願いいたします。最後にそれを見ながら、皆さんで模造紙の上で整理していただければと思います。

また、グループで意見を出し合って、本日発表いただきますが、時間が足りない場合や、後日、追加で思いついたことなどあれば、事後資料にて御意見を提出いただけたらと思います。

それでは、始めたいと思います。

<<グループ討議>>

○北口企画総務課長　それでは、座長にお戻しますので、よろしくお願いします。

○堀内座長　皆様、ありがとうございました。各グループで、いろんな議論が出て、非常にまとめが楽しみです。では、全グループに発表していただきます。1 グループ、5 分程度でお願いします。

では、伯井構成員のグループから発表をお願いします。

○伯井構成員　基本方針 1 の「安全・安心に暮らせる」を発表します。活動プランでは、「みんなで取り組む防災、防犯活動」、「孤立させないコミュニティ力の強化」と、この辺りの話を中心にしたと思います。この「交通環境」というのは少し時間が足りませんでした。

K P I でも自治会の加入率というのは出てきますが、自治会といっても、例えばこども会や老人会、青年団などいろんなもので成り立っているの、単純に自治会の加入率が増えたら活動できるかという、またそれは少し違うのではないかという話が出ました。とはいえ、丹上地区もこども会がなくなりました。ではなぜなくなるのかといいますと、こどもの数も減って、担い手の負担が集中してしまうからです。こども会だけではなく、例えば、夜警でしたら、今日は消防団の夜警行って、次の日は青年団の夜警行ってみたいなことになってしまっている。広く、負担を薄めるという意味からも、いろんな人が薄く広く関わる。まさにその関わりこそが自治会というか、地域活動ではないかということで話をしました。

例えば、いろんな人が参加する祭りというのが一番象徴的ですが、ほかにもお茶会というようなのも福祉でされており、そこにはこどもも来るといった話もありました。こども会の役員についても、こどもの世話するのが別にこどもの親である必要はないので、例えばその地域の役員がこども会担当の役員をすることもあっていいのではないかという意見がありました。

校長先生もいらっしゃいますので、先般も（美原高校）見学させていただきましたが、こどもが地域活動を知る機会をつくることも大事であり、そういった取組が次の地域活動を育てていくのではないかという話もありました。

ただ、結局最後は、楽しく頑張るリーダーが引っ張るということが必要という話になりました。

（拍手）

○堀内座長　続きましては、我々のグループですが、豊岡構成員から発表いただきます。

○豊岡構成員　我々のグループでは、「魅力的で訪れたくなる美原」ということで、美原の魅力として何を打ち出していけばいいのかということで、みんなで考えて意見を出しました。1つは、先ほど松本構成員が「おにぎりプロジェクト」をやられたところから、我々のこの美原の1つの魅力は「第1次産業、農業と食」、こういうところがキーワードになってくるという意見が出ました。その中で、この美原の1つの経営資源が府立農芸高校ではないかという意見が出ました。田植え体験などを実施していくときに、高齢者ばかりで準備するのは結構大変なので、若い人をいかに巻き込んでいくのかというのが1つのキーワードになってくるのではないかとということで、若い人たちにこういう魅力をいかに伝えていくのが重要という話が出ました。大学生の中で、自ら起業して、その中で農業をやりたいという若者も出てきているというお話もありました。また、地元の若い人たちに、ぜひ木材団地などの地元企業に就職してもらって、地元で働き、地元を盛り上げていく構成メンバーになってもらうことが非常にいいと思っております。そのためには、こどものうちから、この美原の魅力を植え付けて、本当に美原が好きな若い人たちが増えてくることが望ましいとの意見がありました。そのために何が切り札になるのかという話になり、高城構成員から美原の各学校の校歌というのが地元の魅力を詞にしているとの紹介がありました。この歌というのは、ものすごく子どもたちにいろんな発想などがモチベートすることができるので、それぞれの学校で、地元美原、地元の校区の魅力を伝える歌をそれぞれの学校でつくって、年に一度コーラスコンテストをやってみたらどうかという案も出てまいりました。

最後に、グループワークで、いろんな意見が出て非常に盛り上がったのですが、これを大学生の若い人たちにやってもらったらどんなリアクションや化学反応が起こるのかという声もあり、若い人たちを巻き込んだ、そういう取組も必要だという意見がでました。

(拍手)

○堀内座長　続きまして、松本構成員のグループから発表をお願いします。

○松本構成員　私たちは、基本方針3の「やってみたいが実現できる」ということで話をしていきました。

その中で、今から共有させていただくのが、大きなビジョンと、そのビジョンを実現するために、チャレンジのサポート体制をどういうふうにつくっていくのか。サポート体制ができるから、美原区の新たな魅力がどんどんつくられていく。その魅力として、教育、子育て環境、地域のつながり、未来の技術という内容で話をしておりました。ビジョンですが、まず美原区ビジョンの「将来像と基本理念及び基本方針」で、「みんなの架け橋になり、笑顔があふれるまち美原～さあ、一緒に挑戦しよう～」というコンセプトが掲げられている中で、「さあ、一緒に挑戦しよう」の挑戦した先に、具体的にどういことが待っているのか、また、どうい未来があるのかというのが描きにくい、分かりづらいので、まずそこをしっかりとビジョンが見える形にしたほうがいいのではないかという意見がありました。

その中で、何か誰かに頼るというわけではなくて、住民主体の、いろんな地域の方々と共創、自分たちでつくっていくんだという意識がすごく大切で、そういったところからチャレンジして、魅力づくりがどんどんできていくと思います。ただそのチャレンジをするためのサポートができる基盤づくりがすごく大切と思っておりまして、その基盤づくりなど、他のメンバーに振っていくので、鈴木構成員からチャレンジのサポートの部分で、資金サポート

は絶対必要という意見があったので、そこを圧縮して発言をお願いします。

- 鈴木構成員　僕が思うことは、何をするに当たっても、チャレンジするにも、経済的な部分というのはすごく大切だと思います。それを補う上で地域の企業さんや個人の方々たちの御支援をいただいた中で、何かチャレンジできたってなると、それができたときの達成感やそれを応援してくださった人たちへの感謝や美原区にある企業に、最終的に美原区民がそこでお勤めになるという流れが自然とできるのではないかな。そうやってサポートしていただいたからこそ感謝もできるし、次はそれをまた次世代や、地域の方に還元しようという、仕組みができたらすごい地域として魅力のあることなのかなと思いますし、そういう形になればすごく楽しそうだと思います。
- 松本構成員　チャレンジをサポートするところとして、資金のサポートも必要で、そこは企業やいろんな方々から資金のサポートしてもらえた方がいいという話がありました。また、市民団体や企業さんやボランティア、いろんなノウハウを持っている人たちが連携する仕組みづくりが必要だし、その多様な人たちで支え合う、助け合うという仕組みづくりをすることでチャレンジがしやすいのではないかなという話が出ました。そのチャレンジがサポートできる仕組みが出来てから、各項目になっていくのですが、教育の部分を釣井構成員から発言をお願いします。
- 釣井構成員　私は、こどもたちの夢が実現できる場所として、企業の力を借りて体験の場などを提供していただければいいと思いました。あと幼・小・中・高でイベントをして、年上のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの話が聞けるなど、夢を実現している先輩の声が聞ける場所があればいいと思いました。
- 松本構成員　次が子育て環境で、ママとこどものやりたいことが実現できる環境整備はすごく大切で、それも魅力につながるということで、礒部構成員からその必要性和、病児保育の今の現状について発言をお願いします。
- 礒部構成員　美原で親子サークル「みはらママ会」という団体を主催しています。今日、ママ会でママたちの声が上がったのが、一時保育がすごく使いづらいというお話が出ていました。一時保育が使いづらいと、やりたいことができたときや、こういことをしたいなというのがあったときに動きにくいので、みんながやってみたいが実現するためには一時保育や病児保育が必要で、今美原区には病児保育がないので、そういうのが設立できたら、ママやパパたちもやってみたいことをできるようになるのではないかなと思います。
- 松本構成員　次が魅力づくりや地域のつながりについて、新たに美原区に引っ越されてきたときに、地域とつながれるハードルを下げる必要があるのではないかなという意見がありました。辻本構成員をお願いします。
- 辻本構成員　私は美原で生まれ育ってはならず、結婚をしてこちらに引っ越してきました。今子育てをしているのですが、だんじりや、地藏盆、夏祭りなどの地域イベントが充実していることに驚きました。ただその情報を得るすべがなく、御近所の人に聞けばいいのか、誰に聞けばいいのか、聞いたとしても私は詳しくないと言われたりして、結局手探りのまま数年がたっており、初参加の際のハードルが私には少し高かった経験をしています。新たに引っ越してきたときなどに、この辺りの情報を得やすくなれば、より住みやすくなるのではないかなという意見が出ました。
- 松本構成員　最後になりますが、未来技術を活用して、美原をもっとわくわくさせることができるのではない

かという意見がありましたので、高岡構成員、発言をお願いします。

- 高岡構成員　ほかの地域だと、無人バスを走らせている地域もあるので、財源などで難しいかもしれませんが、挑戦という意味でやってみたら、美原がピックアップされて活性化されたら、いいのではないかという思いで意見を出させてもらいました。

(拍手)

- 堀内座長　これで、3つのグループに分かれて話し合った内容について発表いただきました。

次の案件ですが、「次期美原区基本計画、区民とともにめざす美原区の将来像について」、事務局から説明をお願いします。

- 北口企画総務課長　現行ビジョンでは、10年後の美原区が目指す将来像を、「みんなの架け橋になり、笑顔があふれるまち美原～さあ、一緒に挑戦しよう～」と示しています。この将来像には、「あらゆる人が協力し、新しい技術や発想を生かし、みんながつながり笑顔になる美原区をめざす」という思いが込められています。

事前の意見で、「現行の将来像を継続したほうがよい」という意見が多数あり、次期計画でもこの将来像は引き継ぐ予定でございますが、現在の将来像に追加したい思いや将来像を基に計画全体に追加したい思いなどについて、何か意見がありましたらお願いします。

また、時間が足りない場合も、事後提出資料をお手元に用意させてもらっております。今日言い足りなかったことや、これ付け足して言いたいことがありましたら、事後で結構ですのでいただけたらと思います。

それでは、座長よろしく願いいたします。

- 堀内座長　事務局から説明がありました。意見がありましたら発言いただきたいと思います。

この件に関して、事前に意見を出していただいた方をまず指名させていただきたいと思います。

議部構成員からお願いしたいと思います。

- 議部構成員　こちらでもお話に上がっていたとおり、ビジョンとしてふわっとしているなと思って、数字的なことや目指すべき関係人口、将来人口、田舎と都会のちよどや、田舎のところを押していくなど、誰もが活躍できる社会、子育ての希望がかなう社会、持続的に発展するためにはどうすればいいかなど、具体的な案があるとすてきだと思いました。

(拍手)

- 堀内座長　辻本構成員、お願いします。

- 辻本構成員　この10年後の美原区が目指す将来像を考えるというのがもちろん今回のお話ですが、10年後に美原区にどれだけの人が住んでいるのか、美原区の特性にも少子化と高齢化が進行とあるのですが、もちろん日本全体の話ではありますが、その中で10年後に人が増えている、あるいは今とキープできているとするためには、この町で子育てをしたいと思ってもらい、ここで生まれ育った方が戻ってくるもそうですが、ここに縁もゆかりもなかったけれども、魅力を感じて美原区に住んでもらえる、選んでもらえるまちづくりというのが必要かと思いました。なので、子育て世帯へのサポートの充実や、こどもの施策など、そのような内容が組み込まれたらいいと思い、記載いたしました。

(拍手)

○堀内座長 では次、松本構成員、お願いいたします。

○松本構成員 将来像の引継ぎ、すごくよいと思っています。その上で2点要望がありまして、要望1としては、基本方針1「安全・安心に暮らせる」に、現在は3つの活動プランが位置づけられているかと思います。詳細は置いてきまして、それプラスアルファで、4つ目の活動プランとして追加いただきたいと考えています。

何かというと、美原区で今、古代米プロジェクトや朝市、そういったいろんなマルシェが既に実施されていると思います。各取組については、今の社会情勢を考えてもすごく重要な取組だと思っていて、地域の食を地域で流通させていく。地産地消はすごく重要だと思っています。米が手に入らない。もしくは肥料がすごく高くなって、生産コストが上がってくる、そういったところも踏まえて、地産地消を推進することが大切だと思っています。なので、活動プランに、「みんなで取り組む食の安全・安心」という名目で、地域全体で農家さんや生産者、学校、福祉施設、事業者などが連携して、地産地消の推進を図っていく、もしくは地域の肥料や堆肥などを循環させていく。地域で生産される安心できる仕組みが必要かと思っています。なので、その活動プランに対して、活動例として地元の作物を活用した地域のイベントや、関連するプロジェクトの推進、肥料の地域循環モデルをつくっていくなどが必要と思っています。

K P I も考えてきたのですが、地元農産物を使用した地域のイベントの開催回数、参加者数をK P I にしたり、地元農産物を活用した新商品のサービス開発件数をK P I にして、堺市産の肥料を使用した農家件数、地元農産物の産直イベントの開催回数や参加者数もK P I にしたり、地元農作物を購入したことがある人の割合もK P I にするといいいのではないかと考えています。

要望2に関しては、基本方針2の「魅力的で訪れたいくなる」に、今、3つのプランが位置づけられていますが、さらにまた4つ目のプランを入れていただきたいと思っております。それが活動プランとして、地域資源を生かした体験型・共感型の魅力づくりということで、今、地域を訪れる目的というのがこんなものがあるからというよりも、体験や共感性に変化してきていると思っていて、美原区では豊かな自然、農地、歴史・文化、人のつながりなど、いろいろあると思うのです。それをうまく編集して、体験型のコンテンツやストーリー性の共感を得られるコンテンツを様々なステークホルダーの方々と開発して、ここなら一回行ってみたい、もう一度来たい、ここなら子育てしたい、そういうふうに思える地域の魅力を創出できればいいのではないかと考えています。

(拍手)

○堀内座長 事前にいただいた意見を改めて紹介いただきました。先ほどのグループワークや、今のいただいた意見も踏まえて、こういうことを追加したらいいのではないかなどがありましたら、お時間がある限り発言いただきたいと思います。

○伯井構成員 美原区ビジョン2025の策定のときも会議に参加させていただいていたと思いますが、この中で「みんなの架け橋になる」や「誰一人取り残さない多様性」というときにイメージしていたのが、私は外国人の方をイメージしておりました。私、郵便局長で、郵便局におりまして、お客様の2割ぐらいが外国人の方です。技能実習生の方がそれだけたくさんいらっしゃいます。外国人の方は、日によっては、時間がかかるので、体感的には半分ぐらいと思うぐらいあります。防災にあっても、いざ災害が起きたら、そういう方もおられますの

で、実際校区や地域によって差はあると思うのですが、無視ができない。マイノリティというには多過ぎる割合になっているのではないと思う。別にこれでビジョンを変える必要はないと思うのですが、その観点を入れる必要はあるかというのは感じております。

(拍手)

○堀内座長　今いただいた意見を踏まえると、美原区だけではなくて、日本全体が陥っている人口減少や米不足、外国人の方が増えているなど、そういう現実的な課題に対して、どう向き合うかということを美原区としても考えていかなければならないという、ことだと思うのです。ほかにも災害である、地球温暖化であるなど、いろんな問題があると思います。それが果たして、このビジョンに入れるかどうか分からないのですが、何か想像力膨らませながら考えていただければいいのではないかと思います。

○大和構成員　ビジョン、将来像で「みんなの架け橋になり、笑顔があふれるまち美原～さあ、一緒に挑戦しよう～」、すごくすばらしい言葉が並んでいるというのは感じております。実際、僕も美原区に関わっていますが、このビジョンがあるというのを、この構成員になるときに初めて知りました。ということは、知らない人もたくさんいるのではないのかと思っています。これはもっともっと前に出していく必要性もあるのではないのかということと、せっかくこうやっていいことをしているのであれば、外に出すという発信力は必要かと思っています。

もう一つ、この将来像の中に言葉としては入れるかどうかはさておき、必要なものがあるのではないのかと思っています。それは「住みたいまち」、これは、僕は絶対大事だと思います。なぜかという、美原区である以上、人がいないと区にはなり得ないと僕は思っています。ということは、住みたい人が住みたいと思ってもらうために、まず知ってもらう。知ってもらって、そこに移住して、ここいい町だねとなって、それが発信されていって、どんどん人が増えていく。少子高齢化なので、そんなにうまくいくかということを言うかもしれないのですが、実際それが成功している他行政さんは存在すると思います。流入どうやって増やすか、流出どうやってとどめるか。これを考えないといけないという着眼点として「住みたいまち」。「住みたいまち」って何なのかというのを考える時間は必要だと思います。それは多分子育て世代やいろんな世代によって住みたいまちは変わってくると思います。美原区として、この方々に僕、私たちは住んでもらいたいというビジョン、将来像などは必要ではないかと思います。

(拍手)

○堀内座長　ほか、どうでしょう。

○高城構成員　グループワークでも紹介しましたが、「この街で」という歌をご存じですか。「この街で生まれ、この街で育ち、この街で出会いもし、あなたとこの街で」という歌があります。

3つの中学校が美原区にはあるのですが、三中合同で年に1回「三中フェスタ」というイベントをやっておりました。最後に舞台の上で親子が手話つきの歌をずっとやってきました。美原西中で、「世界に一つの花」というのが第1回目の歌でした。それから17年間ずっとやってきて、今年で終わりという最後のときに、美原中のメンバーの方がこの歌を歌ってくれました。とってもすてきな歌で、本当にこの町が好き、美原が好きというふうに、私たちはこどもたちのために、こどもたちはここで生まれ、ここで育って、やっぱりこの町が好きだという、そういう魅力あるまちをみんなで今から考えて、つくっていかねばならないと思っています。松本構成員

も実際にいろいろなことに取り組んでいて、とてもうれしい。高岡構成員は平尾小学校のときよかったね、こどもたちは幼い体験や経験など、ふるさととして、すてきな美原で育ってよかったね、また美原に帰ってこようと、そういう気持ちにさせたいなと思います。私はさつき野で、今また学校へ行っていますが、さつき野は、新しく開発されてもう50年近くたちます。いろんなところから集まった地域です。学校でずっとこどもたちと過ごしている中で、地域の人々の力を借りています。学校は地域の人に助けられて、こどもたちのために取り組む。先生たちだけでは絶対無理です。私はそこで学校と地域をつなぐ役をしています。福祉委員もしています。たくさんの構成員さんや、民生委員さんたちと連携しながら、学校といろんなイベントをやっています。

平尾小学校もこの間行ったのですが、平尾はもっと前から地域の方の力を借りていました。昔美原西小学校で勤労生産学習という特別活動があり、お芋を育てて、焼き芋パーティなどいろいろ楽しいことをしました。美原西小のときは、お隣が農芸高校だったので、菊の1人1鉢を1年から6年までの縦割りでやりました。これまで教えた子が美原区で先生になって、育ててくれているのを見ると、すごくうれしいです。

(拍手)

- 堀内座長 今回の新しく構成員になった方がたくさんおられます。松本構成員のグループは、先ほど新しい構成員の方に裾野広く、発言いただきました。

高城構成員はもともと区民評議会にいましたが、区政策会議では初めての構成員です。

ほかにも新しい構成員で、まだお話をいただいてない氏林構成員と寺井構成員に、それぞれ今のテーマに関して、何かありましたら発言をお願いします。

まず寺井構成員、お願いします。

- 寺井構成員 将来像と関連するかどうかなんです、私ども近鉄バスでは、河内松原駅や喜志駅のほうからさつき野にバスを運行させていただいています。昨今、バスの乗務員が担い手不足で充足せず、便数が少し減ったり、最終時間を少し繰り上げさせていただいたりということをやっています。バスの運行を維持していくというのは結構大変で、堺市内でしたら、堺市が65歳以上の高齢者の方はおでかけ応援制度というのをされていて、安くお乗りいただいて、その分市が負担されているという制度ですが、それも市の財政を使っている、皆さんの税金を使ってということなので、バスの交通インフラを維持していくためには、皆が実際に乗っていただくことが必要と思っています。最近、モビリティマネジメントなんてよく言うのですが、マイカーをできれば公共交通に切り替えるということもよく言われています。そういった賢いマイカーの使い方みたいなことを学校や区の中でやっていただいて、周知できれば、交通インフラも維持できることが地域の活性化にもつながっていくのかと思います。できましたらお願いしたいと思っています。

(拍手)

- 堀内座長 氏林構成員発言をお願いします。

- 氏林構成員 私は農業協同組合の女性会が発足したときからずっと入っているのですが、発足当時の人しか入っていないのです。若い人が入ってくることがないので、それも一つの課題です。地域に住んでいる人、世代交代で入ったらいいのですが、おばあちゃんばかりの女性会です。若い人がいかにして入ってもらえるか、なかなか難しいです。今の現状を継続していくというのがやっとな感じ。農業にしても一緒です。そこ

で何か一つ改革ではないですが、何か新しいことができたかと思ひながら、何かヒント、皆さんにいただけたらと思ひながら、この会議に参加させてもらっています。家が農業をしているので、農業のことしか分かりませんが、とにかく（外にでていった）こどもに帰って来てもらう、一緒にやっていく。女性会にしても、若い人が入って魅力ある何かができたらと思っています。何か取り留めのないことをお話ししました。

（拍手）

○堀内座長 様々な意見が出ました。発言内容を吟味していただいて、次期美原区基本計画の区民とともに目指す美原区の将来像について、区のほうで検討していただけるかと思います。

○北口企画総務課長 先ほどの案件で発表できなかったことや追加の意見などございましたら、恐れ入りますが、6月27日までに、別紙の事後提出資料など、意見いただけましたらありがたいです。

それでは、座長、すみません、最後に、締めをお願いします。

○堀内座長 これで本日の案件は全て終了です。

事務局に引継ぎたいと思います。

○奥田企画総務課 堀内座長、議事進行ありがとうございました。

それでは区長から、一言、御挨拶させていただきます。

○小川区長 長時間にわたりまして、活発な意見、たくさんいただきまして、本当にありがとうございました。

すてきな歌も聞かせていただきまして、構成員の皆様の美原への熱い思い、すごく感じることができました。

貴重な意見をいただきまして、本当にありがとうございました。美原区は本当に自然の環境にも恵まれていて、魅力的なまちだと私もすごく思っています。この魅力を生かしながら、新しいことも創出できたというふうに思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

皆様の今回いただいた貴重な意見、参考にさせていただきながら、次期計画の骨子案を作成させていただく予定です。また出来上がりましたら、皆様にも提供させていただこうと思っていますので、よろしくお願いいたします。

（拍手）

○奥田企画総務課 最後になりましたが、松本構成員から1点お知らせがあります。

○松本構成員 資料をお配りさせていただいております。このたび「美原の未来を共創する会～おもろい美原にしようや～」という会を立ち上げることになりました。

前回の区政策会議のグループワークのときに、チャレンジしたいと思ったときにどういう体制が必要かというのをすごく議論されていて、チャレンジを支える仕組み・資金的なサポートも必要という話があって、それを実現するために、この会を立ち上げさせていただいています。

1ページ目、めくっていただきますと、メッセージを書いておりまして、僕も今、4歳、2歳、3人目が7月に産まれるのですが、今住んでいる美原はおもろいかと、胸張ってこどもに伝えられるかと言われたときに、個人的にはまだまだ言えないなと感じています。また、先ほども、住み続けられるまち、住んでもらうまちという発言があったと思うのですが、自分のこどもたちにもそういうふうに胸張って言えるようになれば、外部から見たときも住んでみたいと思えるのではないかと思います。そういうことをやっていきたいと思っています。

次のページをめくっていただきますと、基本理念を書いてありますが、4つありまして、「住民主体のまちづくり」ということで、住民が自分たちで、自分たちのまちをつくるということがすごく大切だと思っていて、そういう思いが基本理念として一個掲げています。

あとは、「持続可能なまちづくり」ということで、一過性のイベントよりも、継続していく仕組みがすごく必要ではないかというのが2つ目。

3つ目が「多様な人が関わる場をつくる」で、先ほども話がありましたが、企業、行政、学校、NPO、いろんな方々が関わりながら、こういう場をつくっていくということが大切だと思っています。

最後に、「挑戦と創造を大切にする」ということで、ここのグループでもありました未来技術を活用し、そこに向けてチャレンジをどんどんしていくということがすごく大切と思っております。

ここの基本理念の中で、大人が本気で楽しんで背中を見せていかないと、こどもたちも面白そうだと思わないと思うので、まずは大人が楽しい背中を見せる機会を創りたいと考えています。

次のページめくっていただくと、実現したい未来ということで書かせていただいておりますが、このグループワークでも出ていましたが、例えばチャレンジできる仕組みのサポートとして、未来共創サイトみたいなもので、個人や企業が持っているリソースがサイトに掲載されていて、そこに支援をお願いするとつながるサイトや、あとは美原共創ファンドということで、地域の住民や民間企業、行政、地方銀行などが資金的に何か新しいチャレンジをしようと思ったときにサポートができる仕組みづくりをすることによって、やってみたいが実現できるし、プラスこどもにもここで住んでほしいと思ってもらえるかもしれないし、外部から見たときにもこういうサポートがあったら美原に住んでみたいと思えるのではないかと考えています。

高い目標ではありますが、3年間で例えば100のプロジェクトが生まれて、参加者が4万人以上を目指すと考えておりますが、こういうところを目指しながら、大人が汗かければいいのではないかと考えています。

最後のページですが、2025年で地域の共創イベントということで、仮名称ですが、まちの文化祭みたいなものをいろんな方々とチャレンジができればいいと思っております。また詳細が決まってきましたらお声がけできればと思います。

こういう活動につきましては、美原区ビジョンともかなり連動する部分があると思っておりますので、位置づけ、整理として記載をさせていただいております。

こういう会を政策会議が、きっかけでつくろうと思っておりますので、もし皆さんのほうで何か興味、関心があれば、お声がけいただければと思います。

(拍手)

○奥田企画総務課 以上をもちまして、令和7年度第1回堺市美原区政策会議を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

(午後8時50分 閉会)